



## 栄養療法のきほん ～経腸栄養剤① 成分栄養剤・消化態栄養剤・半消化態栄養剤～



経腸栄養剤には様々な種類がありますね。  
今回は経腸栄養剤の特徴や違いについて確認してみましょう！

経腸栄養剤（人工濃厚流動食）はその組成から成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤に分類されます。

### 【1】成分栄養剤

《医薬品のみ》 エレンタール、エレンタール P、へパン ED

窒素源はアミノ酸です。低脂肪であるため、長期で使用する場合は脂肪乳剤の併用が必要となります。糖質はデキストリンからなり、ブドウ糖や二糖類は含有されていません。また、食物繊維を含まないため低残渣です。日本ではクローン病の栄養療法として広く用いられています。成分栄養剤が適応となるのは短腸症候群や膵外分泌機能不全などの吸収不良症候群、重症急性膵炎に対する早期経腸栄養などです。浸透圧が高いため、投与速度など工夫が必要となります。

### 【2】消化態栄養剤

《医薬品》 ツインライン

《食品》 ペプチーノ、ペプタメンスタンダードなど

窒素源はアミノ酸、ジペプチド、トリペプチドで、たんぱく質を含みません。商品により、窒素源、三大栄養素の配合比率、濃度などが異なり、注意が必要です。消化態栄養剤は、成分栄養剤と同様に、消化・吸収障害やクローン病、周術期などに適応となります。

### 【3】半消化態栄養剤

《医薬品》 エンシュア・H、ラコール NF など

《食品》 メイバランス 1.0、メイバランス R、インスロー、リーナレンなど

もっとも汎用的な栄養剤です。消化・吸収機能に異常がない場合は第一選択となります。窒素源はたんぱく質であり、脂肪も必要量が含まれています。食品では約 200 種類が市販されています。

表 1 経腸栄養剤の種類と特徴

|     | 成分栄養剤                            | 消化態栄養剤                            | 半消化態栄養剤                               |
|-----|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 窒素源 | アミノ酸                             | アミノ酸、ジペプチド、トリペプチド                 | ポリペプチド、たんぱく質                          |
| 脂質  | 長鎖脂肪酸、中鎖脂肪酸                      |                                   |                                       |
| 糖質  | デキストリンなど                         |                                   |                                       |
| 特徴  | 脂質含有が少ない                         | 窒素源はペプチド                          | 種類が多い                                 |
| 適応  | クローン病<br>周術期<br>急性膵炎など           | 消化吸収障害<br>周術期など                   | 消化吸収機能が正常                             |
| 医薬品 | エレンタール<br>エレンタールP<br>へパンED(肝不全用) | ツインライン                            | エンシュア・H<br>ラコールNFなど                   |
| 食品  |                                  | ペプチーノ<br>ペプタメンAF<br>ペプタメンスタンダードなど | メイバランス1.0<br>メイバランスR<br>インスローなど約200種類 |

特徴を正しく理解して、適切に選択することが重要です！

